

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 1 部門第 1 区分

【発行日】平成27年1月8日 (2015.1.8)

【公表番号】特表2014-530610(P2014-530610A)

【公表日】平成26年11月20日 (2014.11.20)

【年通号数】公開・登録公報2014-064

【出願番号】特願2014-535698(P2014-535698)

【国際特許分類】

C 1 2 N 15/09 (2006.01)

C 0 7 K 14/015 (2006.01)

C 1 2 Q 1/68 (2006.01)

A 6 1 K 39/12 (2006.01)

A 6 1 P 37/04 (2006.01)

A 6 1 K 48/00 (2006.01)

A 6 1 P 31/20 (2006.01)

A 6 1 K 39/00 (2006.01)

【 F I 】

C 1 2 N 15/00 Z N A A

C 0 7 K 14/015

C 1 2 Q 1/68 A

A 6 1 K 39/12

A 6 1 P 37/04

A 6 1 K 48/00

A 6 1 P 31/20

A 6 1 K 39/00 H

【手続補正書】

【提出日】平成26年10月10日 (2014.10.10)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

配列番号 1、配列番号 3、配列番号 5、配列番号 7 の配列、これらの配列と 90 % の相同性を有する配列番号 1、配列番号 3、配列番号 5、配列番号 7 の配列の断片、およびこれらの組合せからなる群から選択される、H P V 抗原をコードするヌクレオチド配列を含む、核酸分子。

【請求項 2】

配列番号 1、配列番号 3、配列番号 5、配列番号 7 の配列、またはこれらの組合せ、或いは配列番号 1、配列番号 3、配列番号 5、及び配列番号 7 から成る群から選択されるヌクレオチド配列と少なくとも 95 % の相同性、少なくとも 98 % の相同性、又は少なくとも 99 % の相同性を有する断片を含む、請求項 1 に記載の核酸分子。

【請求項 3】

配列番号 2、配列番号 4、配列番号 6、または配列番号 8 の配列をコードするヌクレオチド配列；配列番号 2、配列番号 4、配列番号 6、または配列番号 8 の配列と少なくとも 90 % の相同性を有するアミノ酸断片をコードするヌクレオチド配列；配列番号 2、配列番号 4、配列番号 6、または配列番号 8 の配列をコードするヌクレオチド配列の断片；お

よび配列番号 2、配列番号 4、配列番号 6、または配列番号 8 の配列と少なくとも 90 % の相同性を有するアミノ酸断片をコードするヌクレオチド配列の断片からなる群から選択されるヌクレオチド配列を含む、核酸分子。

【請求項 4】

前記分子がプラスミドである、請求項 1 ~ 3 のいずれか 1 項に記載の核酸分子。

【請求項 5】

請求項 1 ~ 4 のいずれか 1 項に記載の核酸分子を含む、医薬組成物又は弱毒化生ウイルスワクチン。

【請求項 6】

配列番号 2、配列番号 4、配列番号 6、または配列番号 8 の配列；および配列番号 2、配列番号 4、配列番号 6、または配列番号 8 の配列と少なくとも 90 % の相同性を有する配列の断片からなる群から選択されるアミノ酸配列を含む、タンパク質。

【請求項 7】

配列番号 2、配列番号 4、配列番号 6、または配列番号 8 の配列と少なくとも 95 % の相同性、少なくとも 98 % の相同性、又は少なくとも 99 % の相同性を有する断片を含む、請求項 6 に記載のタンパク質。

【請求項 8】

配列番号 1 および配列番号 3 の HPV 抗原をコードするヌクレオチド配列、または 90 % の相同性を有するそれらの断片を含む、医薬組成物。

【請求項 9】

HPV サブタイプ 6 又は HPV サブタイプ 11 に対する免疫反応を個体で誘発することにおいて使用するための、請求項 8 に記載の医薬組成物。

【請求項 10】

配列番号 5 および配列番号 7 の HPV 抗原をコードするヌクレオチド配列、または 90 % の相同性を有するそれらの断片を含む、医薬組成物。

【請求項 11】

HPV サブタイプ 33 又は HPV サブタイプ 58 に対する免疫反応を個体で誘発することにおいて使用するための、請求項 10 に記載の医薬組成物。

【請求項 12】

任意には、前記組み換えワクチンが組み換えワクシニアワクチンである、請求項 1 ~ 4 のいずれか 1 項に記載の核酸分子を含む、組み換えワクチン。

【請求項 13】

HPV に対する免疫反応を個体で誘発することにおいて使用するための、請求項 1 ~ 4 のいずれか 1 項に記載の核酸分子を含む組成物、請求項 5 に記載の弱毒化生ワクチン、又は請求項 12 に記載の組み換えワクチン。

【請求項 14】

前記核酸分子が電気穿孔法により前記個体に導入される、請求項 13 に記載の使用のための組成物、弱毒化生ウイルスワクチン、又は組み換えワクチン。

【請求項 15】

HPV に対して個体を治療上免疫化することにおいて使用するための、請求項 1 ~ 4 のいずれか 1 項に記載の核酸分子、請求項 5 に記載の弱毒化生ウイルスワクチン、又は請求項 12 に記載の組み換えワクチンを含む、組成物。